

5. 乳がん

○

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん  
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日										各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術			化学療法	放射線療法		冷凍凝固 摘出術		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
				乳房 切除	乳房 温存	乳房 再建		体外 照射	小線源 治療				治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 乳腺外科	4	4	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	× なし	× なし	国立病院機構大阪医療センター乳腺専門グループの目指すところは、「乳癌から女性を救う診療と研究」で、キーワードは、・早期発見と・適切な治療の2本柱です。早期発見においては、マンモグラフィ(精度管理された画像と読影診断)、高精度乳腺エコー機器といったハードの整備と診断精度の維持をめざ放射線治療は、眼に見えない放射線という物質を巧みに操ることで腫瘍性疾患を消滅・縮小させるものです。うまく使えば手術や化学療法以上に素晴らしい力を発揮します。乳癌の治療方針については、乳腺外科医・病理医・放射線診断医、化学療法看護師、薬剤師、診療放射線技師などで構成する集学	ア http://www.onh.go.jp/surgery/html/sikkan/nyuugan.html イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2 放射線治療科	2	2	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	× なし	× なし	国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp/radiolog/ イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
3			状況 実績								ア http:// イ http://				
4			状況 実績								ア http:// イ http://				
5			状況 実績								ア http:// イ http://				

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---------------------------------------------	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 乳がん 乳がん、乳腺良性腫瘍
------------------------------------	----------------------